

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

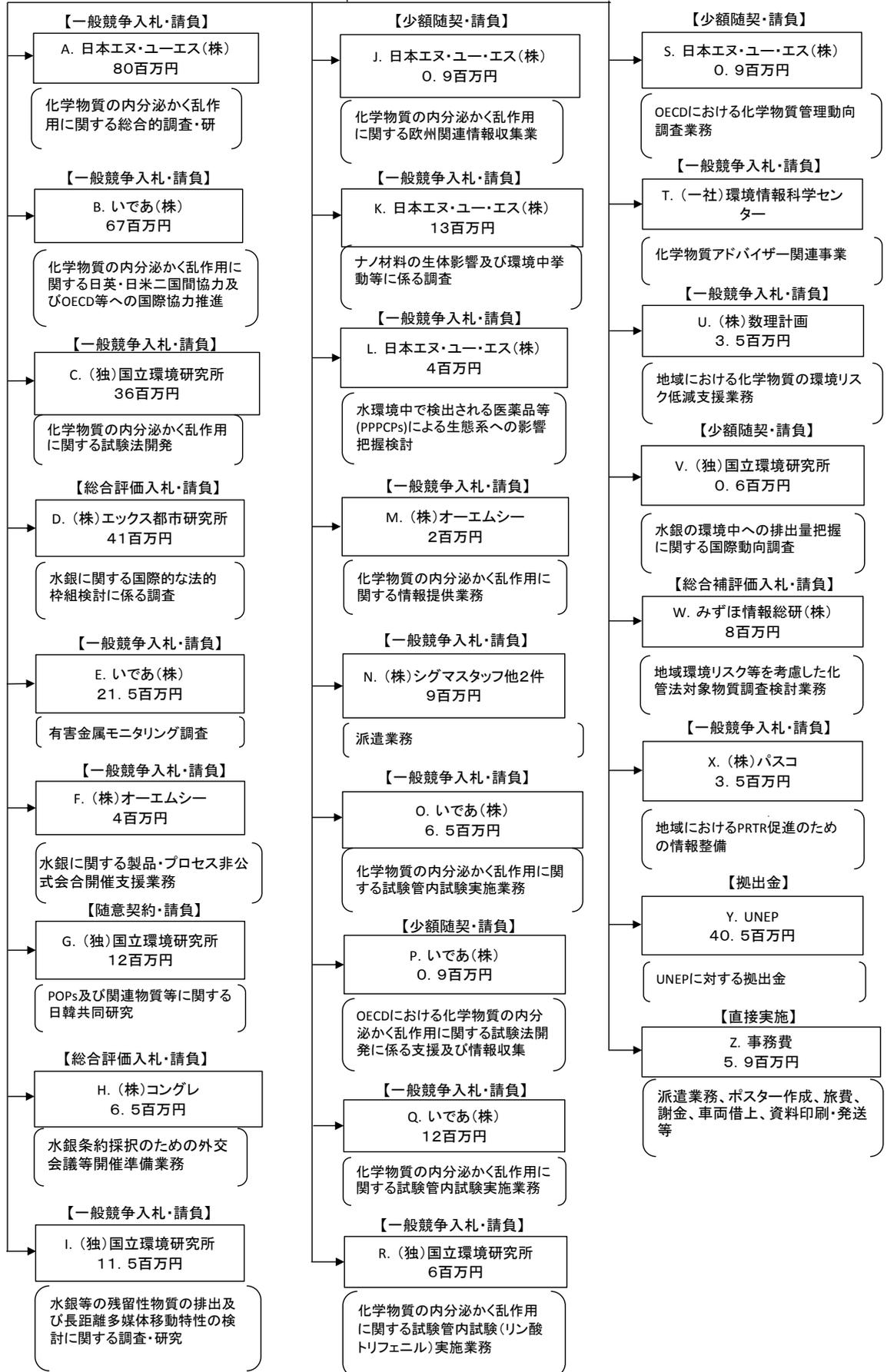
事業名	環境汚染等健康影響基礎調査費		担当部局庁	環境保健部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度～		担当課室	環境安全課	牧谷 邦昭			
会計区分	一般会計	政策・施策名	6 化学物質対策の推進 6-1 環境リスクの評価 6-2 環境リスクの管理 6-3 国際協調による取組 9 環境政策の基盤整備 9-3 環境問題に関する調査・研究・技術開発					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計画、 通知等	環境基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<ul style="list-style-type: none"> 科学的に未解明な点が多い化学物質の内分泌系かく乱作用について調査研究を実施し、各化学物質が人の健康や生態系に及ぼす影響について明らかにし、リスク評価を実施することを目指すとともに一般に適切な情報提供を行う。 水銀等の有害金属類に係る取組や国際的な水銀条約の制定を推進する。 近年技術開発が進むナノ材料の環境影響を未然に防ぐための取組や情報収集を進める。 化学物質排出移動量届出制度(PRTR制度)の見直しにより個々の工場等からの化学物質の排出量等の情報が広く一般に提供されるようになったことから、そうした情報を活用して地域の環境リスクに関する知見を分かりやすく提供する。 							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ol style="list-style-type: none"> 化学物質の内分泌かく乱作用 <ul style="list-style-type: none"> 専門家による助言組織を設置した上で、野生生物の生物学的知見研究、基盤的研究、試験法開発、試験及び評価の実施、リスクコミュニケーション等各種の取り組みを実施する。 水銀条約制定推進 <ul style="list-style-type: none"> 水銀条約の制定に向けた我が国の戦略策定を推進するとともに、水俣病経験国として、条約制定に向けた国際交渉に積極的に貢献する。 ナノ材料 <ul style="list-style-type: none"> 人や動植物への影響が懸念されているナノ材料の環境安全性に係る知見を整備するとともに、その特性を踏まえた上で、ナノ材料による環境影響の防止に向けて調査・検討を行う。 地域での化学物質の環境リスク低減 <ul style="list-style-type: none"> PRTRデータや各種統計情報を利用し、化学物質の環境中への排出量等を地域ごとに示すツールの開発に向けて基礎情報を整備し、化学物質による地域の環境リスクの状況の解析等を行う。 							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	347	498	401	689	377	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	347	498	401	689	377	
	執行額		365	454	400			
執行率 (%)		105%	91%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	EXTEND2010において検討対象物質として選定した物質数(平成26年度末までの5年間で100物質程度を目途として検討対象物質を選定)		成果実績	物質数	40	63	85	100 (H26年度)
			達成度	%	40%	63%	85%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	当事業は、水銀条約の国際交渉のための情報収集等や化学物質の内分泌かく乱作用等についての情報収集・研究等を横断的に行うものであるため、数値化した成果目標を設定し、評価することは困難。		活動実績 (当初見込み)		(—)	(—)	(—)	(—)
単位当たりコスト	— (円/)		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全諸謝金	0.4	4	「新しい日本のための優先課題推進枠」105				
	環境保全職員旅費	3.3	6					
	環境保全委員等旅費	1	5					
	公害調査費	667	362					
	経済協力開発機構等拠出金	17	0					
	計	688.7	377					

事業所管部局による点検						
項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	・化学物質の内分泌かく乱作用については社会的関心が高く、国際的な連携のもと、環境リスク管理の検討に向け、評価手法の確立や評価の実施の加速化が求められている。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	・入札により調査実施機関を選定。専門家の検討会に環境省職員が出席し、適宜、事業が適正に履行されたことを確認。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	・化学物質の内分泌かく乱作用に関して、生物試験等により知見を蓄積するとともに、開発した試験法が国際的なテストガイドラインとして採択される等の成果をあげ、国際的に高く評価されている。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—	—			
	事業番号	類似事業名				所管府省・部局名
点検結果	<p>1. 化学物質の内分泌かく乱作用については、これまでに開発した試験法がOECDでテストガイドライン化される等、一定の成果を上げており、平成22年からは、EXTEND2010に沿って、化学物質の選定、個別の物質の試験を実施しているところであり、今後はこの試験結果等を踏まえ、各物質の評価を進めていく。</p> <p>2. 水銀条約制定推進については、平成25年1月に開催された第5回政府間交渉委員会において、「水銀に関する水俣条約」として条文案が合意され、本年10月に熊本市・水俣市で開催される外交会議で採択される予定。これを踏まえ、外交会議を成功裡に実施し、我が国として条約に署名することができるよう、廃棄物管理や大気汚染対策等の関連する分野との協力・連携を取りつつ、条約交渉に関する我が国の対応策等の検討や、そのための科学的知見の蓄積に係る調査を効率的に推進している。</p> <p>3. ナノ材料の測定方法や管理技術の有効性については未確定な部分が多いことから、これらの課題の解決に取り組みつつ、予防的な観点からの対応を進めていく必要がある。なお、ナノ材料に関する取組は関係省庁と分担・連携して効率的に進めており、環境省は主に環境中への排出防止や動植物への影響の防止観点から取り組んでいる。</p> <p>4. 地域での化学物質の環境リスク低減については、PRTRデータや各種統計情報を利用し、有識者・地方自治体の意見を聴取しつつ、化学物質の環境中への排出量等の環境リスクに関する情報を地域ごとに示すシミュレーションツール(リスク解析支援ツール)の開発に係る検討及び基礎情報の整備を効率的に行った。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業的全体改善の抜	支出実績及び事業の優先度等を踏まえ予算の重点化を行うべき					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	事業の優先度を考慮して予算の重点化を行うとともに、効率的な予算執行に向けた要求内容の整理や人件費等を見直し、要求額を縮減した。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	287	平成23年	225	平成24年	234	

環境省
400.7百万円

環境汚染等健康影響基礎調査

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



A.日本エヌ・ユーエス(株)			E.いであ(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
			人件費		8.5
			借料及び損料	機器損料、備車費	5
			雑役務費	分析費	3.5
			一般管理費		2
			消費税		1
			その他	調査機材等送料、交通費、検討会開催費一式、測定用消耗品、報告書等印刷	1
計		80	計		21
B.いであ(株)			F.(株)オーエムシー		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費		36	旅費	招聘者旅費	2
消耗品費		11	借料及び損料	会場、備品等使用料	1
一般管理費		8	その他	一般管理費、ケタリング等、資料・報告書印刷	1
旅費	専門家会議出席旅費	4			
消費税		3			
借料及び損料	会議会場借料、車両借上、機器損料	2			
その他	委員会開催経費一式、宅急便、会議資料・報告書印刷、臨時要員	3			
計		67	計		4
C.(独)国立環境研究所			G.(独)国立環境研究所		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃金		11	消耗品費		5
消耗品費	一式	10	委託費		4
一般管理費		4	一般管理費		1
人件費		4	雑役務費		1
雑役務費		2.5	その他	消費税、借料及び損料、印刷製本費、賃金、旅費、会議費、通信運搬費	1
消費税		1.5			
その他	試験研究旅費、共通経費	3			
計		36	計		12
D.(株)エックス都市研究所			H.(株)コングレ		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		41	計		6.5

本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ、回答を得ることができなかった。

本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ、回答を得ることができなかった。

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

I.(独)国立環境研究所			N.(株)シグマスタッフ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	消耗品一式(実験用、調査検討用等)	5			
外注費	データ整備等	4		本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ、回答を得ることができなかった。	
雑役務費	観測業務	1			
一般管理費		1			
その他	旅費、消費税	0.5			
計		11.5	計		3.5
K.日本エヌ・ユー・エス(株)			O.いであ(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ、回答を得ることができなかった。		人件費		4
			消耗品費		1.5
			一般管理費		0.7
			その他	消費税、機器損料、報告書印刷	0.3
計		13	計		6.5
L.日本エヌ・ユー・エス(株)			Q.いであ(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ、回答を得ることができなかった。		人件費		3.5
			消耗品費	試薬関連	1
			一般管理費		1
			その他	機器損料、報告書	0.5
計		4	計		6
M.(株)オーエムシー			R.(独)国立環境研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ、回答を得ることができなかった。		消耗品費	一式	5
			その他	一般管理費、消費税、印刷一式	1
計		2	計		6

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

T.(一社)環境情報科学センター		
費目	使途	金額 (百万円)
計		4

本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ、回答を得ることができなかった。

U.(株)数理計画		
費目	使途	金額 (百万円)
計		3.5

本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ、回答を得ることができなかった。

W.みずほ情報総研(株)		
費目	使途	金額 (百万円)
計		8

本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ、回答を得ることができなかった。

X.(株)パスコ		
費目	使途	金額 (百万円)
人件費		3.0
その他	一般管理費、消費税、一般管理費、旅費	0.5
計		3.5

Y.UNEP		
費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	水銀条約制定促進のための拠出金	40.5
計		40.5

Z.事務費		
費目	使途	金額 (百万円)
職員旅費		2
計		2

費目	使途	金額 (百万円)
計		0

費目	使途	金額 (百万円)
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本エヌ・ユー・エス(株)	化学物質の内分泌かく乱作用に関する総合的調査・研究	80	1	87%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	化学物質の内分泌かく乱作用に関する日英・日米二国間協力及びOECD等への国際協力推進	67	1	93%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	化学物質の内分泌かく乱作用に関する試験法開発	36	1	86%

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エックス都市研究所	水銀に関する国際的な法的枠組みの検討に係る調査	41	1	88%

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	有害金属モニタリング調査	21.5	1	98%

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)オーエムシー	水銀に関する製品・プロセス非公式会合開催支援業務	4	3	67%

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	POPs及び関連物質等に関する日韓共同研究	12	随意契約	-

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)コングレ	水銀条約採択のための外交会議準備業務	6.5	1	98%

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	水銀等の残留性物質の排出及び長距離・多媒体移動特性の検討に関する調査・研究	11.5	2	95%

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本エヌ・ユー・エス(株)	化学物質の内分泌かく乱作用に関する欧州関連情報収集業務	0.9	随意契約	-

K.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本エヌ・ユー・エス(株)	ナノ材料の生体影響評価及び環境中挙動等に係る調査	13	1	97%

L.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本エヌ・ユー・エス(株)	水環境中で検出される医薬品等(PPPCPs)による生態系への影響把握検討	4	1	68%

M.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)オーエムシー	化学物質の内分泌かく乱作用に関する情報提供	2	2	50%

N.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)シグマスタッフ	化学物質管理方策の検討に係る派遣業務	3.5	-	-
2	(株)ジョリー・ロジャー	化学物質の内分泌かく乱物質に関する調査研究等に係る派遣業務	3.0	-	-
3	(株)シグマスタッフ	化学物質排出把握管理促進法の関連調査に関する派遣業務	2.5	-	-

O.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	化学物質の内分泌かく乱作用に関する試験管内試験実施業務	6.5	1	73%

P.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	化学物質の内分泌かく乱作用に関する試験法開発に係る支援及び情報収集	0.9	随意契約	-

Q.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	化学物質の内分泌かく乱作用に関する第一段階生物試験(1-ナフトール)実施業務	6	1	77%
2	いであ(株)	化学物質の内分泌かく乱作用に関する第一段階生物試験(4-t-ペンチルフェノール)実施業務	6	1	77%

R.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	化学物質の内分泌かく乱作用に関する第一段階生物試験(リン酸トリフェニル)実施業務	6	1	73%

S.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本エヌ・ユー・エス(株)	OECDにおける化学物質管理動向調査業務	0.9	随意契約	-

T.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一社)環境情報科学センター	化学物質アドバイザー関連事業	4	1	99%

U.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)数理計画	地域における化学物質の環境リスク低減支援業務	3.5	1	91%

V.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	水銀の環境中への排出量把握に関する国際動向調査業務	0.6	随意契約	-

W.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	みずほ情報総研(株)	地域環境リスク等を考慮した化管法対象物質調査検討業務	8	1	99%

X.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)パスコ	地域におけるPRTR促進のための情報整備業務	3.5	1	93%

Y.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	UNEP	水銀条約制定促進のための拠出金	40.5	-	-

Z.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人	職員等旅費	2	-	-
2	(株)ダイワ	冊子印刷(「水俣病の教訓と日本の水銀対策」)	1	随意契約	-
3	(株)海風社	地域活用の促進に向けたPRTR制度普及啓発のためのポスター作成	0.40	随意契約	-
4	(株)新生社	冊子印刷(「水俣病の教訓と日本の水銀対策」中国語版)	0.30	随意契約	-
5	朝日梱包(株)	梱包発送(「水俣病の教訓と日本の水銀対策」)	0.25	随意契約	-
6	(株)JCNT	携帯電話(第5回水銀条約政府間交渉委員会会合等)	0.2	随意契約	-
7	テレコム・スクエア	携帯電話(水銀条約政府間交渉委員会会合(INC4)等)	0.1	随意契約	-
8	朝日梱包(株)	梱包発送(「水俣病の教訓と日本の水銀対策」)	0.08	随意契約	-
9	個人	参加費(SETAC Europe年次会合参加費)	0.07	-	-
10	(有)タケマエ	レンタル(片袖机1台、事務用椅子1脚)	0.06	随意契約	-